

赤い羽根共同募金



令和4年度に共同募金の助成を受けたグループや団体から共同募金会大村市支会（大村市社会福祉協議会）に届いたありがとうメッセージをご紹介します。

今年もコロナ禍での活動でしたが、県外の子ども図書館の見学を行いました。また、子育て支援の研修会に参加し、子育て支援活動の大切さや継続することの重要性を再認識することができました。「自分達のできることを1つずつ」ということで、この活動を継続できることに感謝します。

ありがとうございました。

ききょうグループ



大村要約筆記さくら

要約筆記は、聞こえの悪い方へ話の内容を要約して書いて伝える活動ですが、聴覚障害者の方々と接する機会が少なく利用者の現状がわかりにくい状況でしたので、共同募金の助成金で難聴者講師を招いての研修会を開催することができました。

現在の難聴者の現状と要約筆記者に求めることなどご講義いただき、特に新しい会員では勉強になったと思います。

ありがとうございました。



共同募金からの助成金により、文庫活動の新しい企画として、本だけではなく友達と共有できて感動する企画を考えることができました。

工作(もの作り)体験は、達成感、感動を得て、興味関心が増えます。

新鮮な出会い、初めてごとにはワクワクします。

ワクワクする体験はこの上なく楽しいことです。

楽しいことをたくさん子どもたちに伝えることができればと活動しています。

ありがとうございました。

おひさま文庫



共同募金の助成を受け、手話技術向上のための研修費やサークル活動を広め、理解していただくためのチラシ、親入会員への歓迎チラシなどの印刷代などに活用させていただきました。また、コロナ禍の中、パソコンを使用したオンライン研修会にも多くの会員が参加し、パソコン用スピーカーも購入させていただきました。コロナの感染予防が緩和され、今後は多くの行事も開催されると思っています。サークル会員とろうあ協会会員が共に協力し、ろうあ者へのより深い理解と福祉増進につなげていきたいと思っています。今後とも皆様のご協力に感謝し、活発に活動していきたいと思っています。

ありがとうございました。

大村手話サークル



私達は地域の独居高齢者のための会食会やレクリエーションを開催しています。月に1回ですが、参加される方々が楽しく過ごしていただけるのも、共同募金の助成金があるからです。これからも長く続けていくようにします。

ありがとうございました。

ボランティアグループ野菊会



おもちゃドクター8名で運営する小さなおもちゃ病院です。

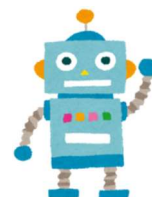
赤ちゃんのおもちゃからお年寄りまで修理依頼されるおもちゃは木製、プラスチック製、金属製と多種にわたります。

大村おもちゃ病院は依頼されるおもちゃの修理のため、故障した部品の交換・調整、壊れ箇所は作成まで無料で行うボランティア団体です。いただいた貴重な助成金は、新型コロナウイルス感染防止のための消毒液等の整備とおもちゃ修理に必要な消耗部品を購入させていただきました。

おもちゃ病院を利用される方は、ほとんどが小学生以下の子どもさんがいる若いお母さんです。「捨てずによかった。」「治ると思わなかった。」…と喜びの声をよく聞きます。特に治ったおもちゃを手にして喜ぶ子ども達が私達おもちゃドクターの活動の原動力です。

ありがとうございました。

大村おもちゃ病院



精神や身体に障害がある人、そして、その家族と市民が参加し、ともに語り合い支え合う集いとして「ピアサポートみなと」の例会を開催し、障害者と生涯学習として活動しています。

月 1 回の例会及びオンライン開催のみなどの小部屋を通じ、誰もが分け隔てなく自らの思いを打ち明け、それをみんなで傾聴し、相互支援を行っています。

共同募金の助成により例会を開催し、当事者や家族、市民が語り合い理解し合う場を持つことができました。特に今年度は、コロナ禍により対面での開催が困難な時はオンラインで開催を継続することが出来ました。また、ホームページを開設して広く活動を紹介しています。

これからも「ピアサポートみなと」の活動を紹介できる機会を大切にしたいと思っています。ありがとうございました。

ピアサポートみなと



中地区公民館おはなしの部屋「ぽかぽか」

毎年、共同募金の助成を受けることができ、心から感謝申し上げます。

コロナ感染症減少に伴い、私共の活動も 2 月以降、勢いを増してきました。

子どもたちの弾ける笑顔、そして、全身で喜びを表現してくれる姿を目の前にして、私共スタッフ一同、迫り来る高齢化も何のそので、意欲を漲らせています。

ありがとうございました。

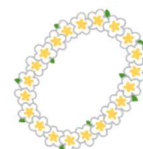


施設を慰問させていただき、いろいろな行事に参加して、人とのふれあい、笑顔で踊ることの大切さを気づくことができました。ボランティアを通して、社会の役に立てることを実感し感謝しています。

コロナ感染症も落ち着いてきて、これからますます慰問の機会も増えるかと思えます。精一杯の笑顔で踊りたいと思います。

ありがとうございました。

マーラ プア



アートワークス大村

3月に共同制作した10mの新幹線の絵を新大村駅開業の令和4年9月23日に駅入口に展示させていただき、描いた人々も集まり記念撮影して、喜びを分かち合うとともに、集団の力・協力・絵の完成…と改めてアートの力を感じました。

また、私達アートワークス大村も「10周年作品展」を実施でき、多くの人々にも鑑賞していただき、感謝の念とともに、共同募金から助成を受け、画材等準備することができ、心おきなく制作に励むことができています。

画材も値上げが続いておりますが、おかげさまで10mの絵を塗れるほど、多量の絵の具を購入できて、今年度は喜びの年となりました。

本当にありがとうございました。



少しずつ地域のイベントが復活し、3年ぶりにランタンフェスティバルで演奏できたことは良かったと思います。

福祉施設での演奏ももっと復活するといいなと思います。

今回も助成金を活用して、楽譜やCD購入し、これからの訪問演奏に活かせるようにしたいと思います。

ありがとうございました。

二胡ユニットつきあかり



菜の花食堂

この3年間、コロナ感染症の影響によりいろいろな行動が制限され。障がいを持つ人達にとっては、普段から居場所が少ないのに、なおさらのことでした。

食事の提供も弁当にせざるを得ませんでした。週に1回、顔を合わせ笑顔で話すことは、支えになったに違いないと思います。

資金面で助成いただいたことは私達の支えにもなりました。このような助成金があることは、ボランティアの活動がしやすく社会を明るくすると思います。

ありがとうございました。



警防連福重っ子見守隊

共同募金からの助成を受け、私共のボランティア団体は活動できました。令和4年度は児童生徒の犯罪被害者防止の観点から目で見えて覚えてもらう横断幕を購入設置しました。

それは、“いかのおすし”と言う簡単な標語で内容は、誘拐被害防止の大切な言葉で子供が知らない人に声をかけられた時に被害に遭わないようにするための行動を示したものです。

設置個所が福重小学校内ですが、小学生はもちろん大人にも理解をいただいています。

ありがとうございました。



町内でも高齢化が進み、介護保険を受けるほどでもない。車で出掛けるにも返納する年齢の方が多く、一人暮らしの方も数人。近所で皆さんと会えるといのこのという声が聞かれサロンを立ち上げました。

「今度のサロンはいつね？」と聞かれるようになり、コロナ禍で開催できない時は、脳トレ、まちがい探し、問題集などを配布し、安否確認もでき、私達スタッフも充実した時間を過ごせてありがたく思います。

サロン・むっど



げんき届け隊

高齢者の方々がご自分の足で歩いていける地区の公民館に集うことが健康寿命の延伸にもつながり、また、楽しく効果的な運動やレクリエーションの提供をすることで、少しでも健康づくりの手助けができればという思いで活動しています。

今回初めて共同募金の助成を受け、私達の活動がより充実したものになりました。参加者の皆様に身体と心を動かしてもらい弾けた笑顔に出会い、この活動をして本当に良かった！という感動とともに継続の思いを新たにしているところです。
ありがとうございました。



共同募金の助成を受け、社会の中にある様々な区別（性別・年齢・障がいの有無など）に関係なく誰もが等しく“ひとりの人として”集い語り合える場所を地域の中に作り、交流活動を行うことを目指し、月2回の交流会や講師を招いての講演会を開催することができました。

ありがとうございました。

フリープレイス 然



純和∞野菜つむぎ

食の安全を伝えるための活動をしていますが、若い子育ての人達が、子供連れで参加され、それは子供のために安全な食事を学ぶことにもなり、また、家族で過ごす楽しい時間にもなっているようです。

これからも活動の輪を拡げていきたいと思えます。

ありがとうございました。



共同募金の助成を受け、里山における親子体験講座を年間を通して行うことができました。

観察することや五感を使つてのゲーム等を行い、子供たちは毎回、目を輝かせ「次は何をするの?」「これはね、羽根が6枚あってね」と自分の知識を発表することで、より自然への関心を深めています。気候温暖化が言われている昨今、この問題にも関心を持たせて行きたいです。

森であそぼう会



会員が楽しみにしている行事の1つである「新年親子の集い・成人者・還暦者を祝う会」は会員だけではなくお客様にも来ていただきました。オンライン出席も便利ですが、対面での「元気にしとったあ？」の声が聞けて、賑やかな楽しい会になりました。

今後とも保護者、地域、行政が一体となって、育成会を盛り上げていきたいと思えます。

どうぞ変わらぬご支援をお願いいたします。



大村市手をつなぐ育成会

大村市母子寡婦福祉連合会

ひとり親家庭（母子家庭及び寡婦）の自立と生きがいつくりのため、毎々ご協力ご支援を賜りありがとうございます。

令和4年度はコロナウイルス感染拡大のため、いろんな活動をするのが制約される中、7月夏休みひとり親家庭「親子バス旅行」として長崎市恐竜博物館や長崎県歴史博物館で昔の時代の研修を行い、恐竜の迫力に圧倒されたり楽しい旅ができました。

寡婦研修会として、将来の超高齢者社会でイキイキ生きる人生を送るため、9月に介護予防、自宅でできる健康体操脳活性化実践講座及び11月造り酒屋見学や波佐見町野外博物館等の研修をしました。

冬クリスマス前には親子クッキング教室、本年は親子食育体験ピザ作りを実施し36名の親子家族が集いました。マスク消毒、検温しながら、美味しくできてみんな満足、楽しい時間を過ごしました。

コロナ禍の中、県外には出なくてもやれることは精一杯やってみました。

これらの体験を通じて人生が楽しく嬉しく過ごせました。ご支援ありがとうございました。

ご支援ご協力には言葉を尽くしても足りませんが今後ともよろしく願います。



大村市老人クラブ連合会

感染症に負けない心と体づくりに努め、例年にも増して活動した1年でした。

「山歩き」の開催、活水女子大学看護実習の受入等、初の取組みにも挑戦し、役員、会員一同、楽しみながら健康寿命の延伸に繋がる活動をさせていただきました。感謝申し上げます。

